

リハビリと看護

セラピストと連携し、患者さまのリハビリテーション時間（1日最大3時間）以外の入院生活時間（21時間）においても、看護師・看護補助者は、患者さまのリハビリを支えています。リハビリテーション時間以外にも、病棟内でできる訓練と一緒にサポートし、その成果や状況をチームカンファレンスで発言し活用しています。患者さまの希望する形での在宅復帰へつなげるよう、リハビリと看護でサポートを行っています。



たつみ病院の
取り組み

PINT
3

ポータブルトイレの使用**ゼロ**を目指します。

夜間でもトイレ誘導を心がけています。患者さまの生活空間にトイレを設置するのではなく、トイレまでの運動も根気強く支えていきます。

数字で見た👁️👁️大阪たつみ病院のリハビリ

患者さま1人1日あたりの
リハビリテーション時間

在宅復帰率



1日平均

2時間44分

〈最大3時間のリハビリを実施〉



85.4%

〈基準：70%以上〉

ACSEES

🚇 地下鉄でお越しの場合

降車：地下鉄千日前線「南巽駅」3番口

【なんば駅よりお越しの方】

Osaka Metro 千日前線

なんば駅（南巽行）➡️ 南巽駅

【天王寺駅よりお越しの方】

Osaka Metro 御堂筋線 Osaka Metro 千日前線

天王寺駅（大日行）➡️「谷町九丁目」乗り換え➡️ 南巽駅

🚶 南巽駅から徒歩3分

地下鉄 南巽駅3番口より徒歩3分です。

🚗 お車でお越しの場合

阪神高速 14号松原線 平野ICより約5分



医療法人せいわ会

大阪たつみ病院

当院のあらたな取り組みと
リハビリ環境のご紹介

入院相談・問い合わせはこちらまで

医療法人せいわ会

大阪たつみ病院

〒544-0015 大阪市生野区巽南3丁目19-3

☎️ 06-6752-7531

🖨️ 06-6752-2710

公式ホームページ



<https://osaka-tatsumi-hp.jp/>

「回復期リハビリ病棟」76床稼働中！

(施設基準の最上位基準を取得)



発症早期の患者さまの受け入れや、回復期リハビリの提供を行っています。



日本整形外科学会専門医

院長 齊藤 正伸
Saito Masanobu

急性期の治療が終了した後、自宅に戻るには機能回復が不十分という患者さまに対し、より安全に、より早く社会に復帰していただけるよう、治療いたします。患者さまやご家族、地域の方々に安全で満足していただける医療を提供するために職員一同、一丸となって努力してまいります。

回復期リハビリテーション病棟の対象となる疾患について

対象疾患	入院期間
脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症後若しくは手術後の状態または義肢装着訓練を要する状態	150日以内
高次脳機能障害を伴った重症脳血管障害、重度の頸髄損傷及び頭部外傷を含む多部位外傷の状態	180日以内
大腿骨、骨盤、脊椎、股関節若しくは膝関節の骨折又は2肢以上の多発骨折の発症後又は手術後の状態	90日以内
外科的手術又は肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後又は発症後の状態	90日以内
大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋又は靭帯損傷後の状態	60日以内
股関節又は膝関節の置換術後の状態	90日以内

※入院期間は患者さまの状態により異なります。

たつみ病院の 取り組み

PINT
2

ADL 練習ができる環境を整えています。 (日常生活動作)



トイレシュミレーター

便座や手すりの位置が電動で調整可能で、患者さまの状態や自宅の様子に合わせて練習が可能です。



畳の小上がり

和室での生活を想定して、立ち上がりや畳上での歩行練習などを実践できます。



@ ATTENTION

(アテンション)

半側空間無視や注意障害に対するタッチパネルや目の動きを利用し、評価、練習を行います。



高次脳機能障害のリハ・評価

失語症など高次脳機能障害の評価ツールや訓練用品も充実しています。



長下肢装具での歩行練習

早期に歩行練習ができるように長下肢装具などを作成します。



NuStep の導入

回復期リハならではの活動量の確保に努めます！安全に有酸素運動が可能です。

たつみ病院の 取り組み

PINT
1

150日・180日以内の入院について

- ・早期離床、早期経口摂取を目指して取り組みをおこなっています。
- ・神経難病などの高額な薬剤を利用している方も検討が可能です。
- ・頭蓋形成術など手術までに時間を要するような場合も、一旦入院にて検討が可能です。

90日以内の入院について

- ・免荷期間であっても検討が可能です。
- ・外科手術肺炎等の治療時の安静後など誤嚥性肺炎、新型コロナ治療後、その他内部疾患の治療後など。その他の疾患治療後や手術後にご相談ください。